



大盛況！ちびっこひろば

▲大きな歓声に包まれたぜんまい座の公演

10月26日、ちびっこひろばが開催されました。この催しは、国際児童年である昭和53年に旧土佐山田町で始まり、伝承遊びや、保育士・保護者により構成されるぜんまい座の太鼓や演劇をとおして、親子の交流や親睦を図るイベントで、今年で35回目となりました。

なかよし保育園で開催された午前の部では、紙のお面を作ったり、ぬり絵をしたりと、親子で触れ合いながらいろいろな工作を楽しんでいました。



▲大人気だったお面づくり

午後から山田養護学校で行われたぜんまい座の公演は、親子連れらで満員となり、歌や和太鼓の演奏、劇などが行われ、園児や保護者からは大きな笑い声や歓声が上がっていました。

香北グラウンドで防災訓練

11月16日、香美市香北グラウンドにおいて、第2回香美市自主防災組織連絡協議会が開催されました。

この日は、香美市内の自主防災組織の代表者など、113人（63組織）の方が参加し、消火訓練や救急救命訓練、ロープワークを行いました。

今回初めて行ったロープワークでは、慣れない結び方に皆さん苦労していましたが、消防職員の指導を熱心に聞き、防災に役立つロープの結び方を習得しました。



▲難しい！でも頑張って習得しました

商店街で食べ歩き・飲み歩き

10月31日、11月1日にJR土佐山田駅前の商店街を中心に飲食店などの26店舗を食べ、飲み歩くイベント、香美バルが開催されました。

参加者は、仲間と共にチケットとイベント参加店舗マップを持って思い思いの店へ行き、バルメニューと呼ばれる一品と飲み物を楽しみました。香美市に初めて飲みに来た方も多く、中にはハロウィンに合わせて仮装した参加者も。香美市在住の参加者は、「香美市の夜のまちにこんなに人があってうれしい」と笑顔を見せ、大変な盛り上がりとなりました。



マーチングで火の用心

11月7日、香美市役所本庁舎前で、土佐山田幼稚園の園児がマーチングを行い、火災予防を呼びかけました。これは、秋の全国火災予防運動の一環で行われたものです。

園児は日ごろの練習の成果を発揮し、旗を使っのマスゲームや太鼓の演奏を披露しました。



間伐体験

▲ルネサスフォレストランド2014

10月18日、香北町東山の市有林で、ルネサスフォレストランド2014が開催されました。

ルネサスセミコンダクタマニュファクチャリング(株)の関係者15人が参加し、香美森林組合の指導のもと間伐体験を行いました。間伐作業の後は、広場で昼食後、二酸化炭素の吸収証書授与式が行われました。



ストックヤード見学

協働の森づくり地域間交流事業

香美市と環境先進企業との協働の森づくり事業のパートナーズ協定を締結している、ルネサスセミコンダクタマニュファクチャリング(株)、セントラルグループ、高知工科大学・高知工科大学後援会の3団体によって、地域間交流事業が開催されました。



▲セントラルグループ香美市物部の森2014

10月4日、セントラルグループ香美市物部の森2014が開催され、セントラルグループの関係者12人が参加しました。

当日は、物部町笹地区の森林で、物部森林組合の指導のもと間伐体験を行いました。昼食後には周囲を散策し、香美市の自然を満喫しました。

◀高知工科大学—物部川共生の森2014

11月8日、物部町笹地区の森林で、高知工科大学—物部川共生の森2014が開催されました。

高知工科大学の学生や教職員等15人が参加し、物部森林組合の指導のもと間伐体験を行いました。昼食後には、物部森林ストックヤード(物部町中谷川)を熱心に見学しました。

森で遊ぼう！キッズフェス

11月16日、土佐山田町大平の森林総合センターで、森林総合センター祭キッズフェスが開催されました。

当日は、森で働く機械に試乗したり、ロープを使った木登り『ツリーイング』を体験したりと、子どもたちが木や森に触れ合ういろいろなイベントが催されました。また、各種団体による模擬店も開かれたほか、蕨生太鼓の演奏や森の音楽会も行われ、多くの人出でにぎわいました。

会場には、竹を組んで作ったジャングルジムのような大きな遊具も設置され、体を目いっぱい使いながら遊ぶ、子どもたちの歓声が響いていました。



▲大きな竹の遊具におおはしゃぎ！